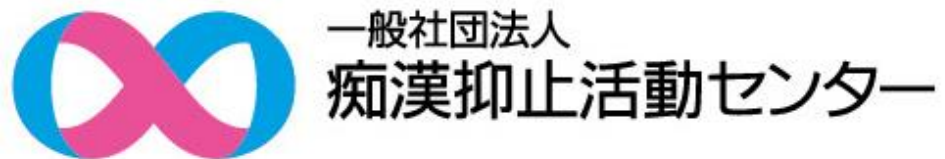

年次報告 2021



目次

- 活動に対する思い
- ご挨拶
- 私たちが目指す社会
- 事業報告

第7回痴漢抑止バッジデザインコンテスト

啓発・啓蒙活動

痴漢抑止バッジ販売

- 会計報告

100年続く電車内痴漢犯罪から子どもを守るのは、
私たち、大人の責任です

ご挨拶

2021年は、痴漢抑止活動センターにとって、活動の大きな転換期となりました。

ひとつは、2022年度から痴漢抑止バッジの無料化を決意したことです。

理由は、従来のネット通販では、電車内で痴漢に狙われやすい世代である中高校生が、痴漢抑止バッジを入手できない問題があったからです。

保護者に被害を相談して購入してもらえる子はいいいのですが、被害を誰にも言えない子は大勢います。そうした層に痴漢抑止バッジを届けるためには、通年で無料配布をするのがよいと考えました。

そのためには、資金が必要です。そこで、マンスリーサポーター制度を作り、活動に共感してくださる方からご寄付をいただくことにしました。

Twitterで、繰り返しサポーターを募ったところ、投稿の1本が大きな注目を集め、150名方がサポーターとして参加してくださいました。

おかげで、2021年3月に無料化し、月100個を配布できる見通しが立ちました。

もうひとつは学校で「痴漢犯罪防犯講座」を実施してもらったプロジェクトを立ち上げたことです。

講座内容は、2020年に制作したアニメーション「学生に知ってほしい痴漢の真実」を中心としたレジュメで講座を実施。必要とする生徒に痴漢抑止バッジを配布してもらいます。

学校に無償提供するため、12月にクラウドファンディングを開始しました。1月末に229名から159万6千円のご支援をいただき、ネクストゴールを達成しました。

3月以降、寄贈リクエストをいただいた各校に寄贈して、「痴漢犯罪防犯講座」を開催していただく予定です。

第7回目を迎えた痴漢抑止バッジデザインコンテストは、全国148校から1091作品の応募があり、審査には1349名が参加しました。これまでのコンテストに1万人以上が参加し、一緒に痴漢問題の解決を考えてきたことになります。

引き続き、活動を広げていくように努めます。今後も、ご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。



一般社団法人痴漢抑止活動センター
代表理事 松永弥生

事業報告

第7回痴漢抑止バッジデザインコンテスト 報告書

第7回
痴漢抑止バッジ
デザインコンテスト

募集期間
2021年 **8月1日(日)** ~ **9月10日(金)**

作品募集

賞
最優秀賞 賞金 **5** 万円
優秀賞 賞金 **2** 万円
審査員特別賞 賞金 **1** 万円

学生のデザインで社会の課題を解決!

後援



国土交通省



文部科学省



警察庁
National Police Agency

関西SDGsプラットフォーム
大阪府教育委員会

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



一般社団法人
痴漢抑止活動センター

【開催主旨】

痴漢抑止バッジは、高校入学直後から痴漢に遭いつづけていた都内在住の女子高校生が2015年に考案しました。彼女はバッジをつけて登下校するようになって以来、電車内で痴漢に遭わなくなりました。

警視庁の発表によると、痴漢は電車内と駅構内の発生が70%以上を占めており、スカートや下着の中に手をいれるような悪質な強制わいせつ罪も15.5%が電車内で発生しています。被害者の70%以上が、10代～20代の女性です。

夜道や人気のない公園ではなく、毎日の通学電車内で多くの子どもが性犯罪の被害にあっているのです。周囲にいるオトナ達の無関心が、加害者の行為を助長させている側面を看過できません。

子どもたちにとって、性犯罪の被害にあってから大人に相談するのは、羞恥心もあり難しいものです。学校や家庭で痴漢抑止バッジのデザインを選び、痴漢について考えるきっかけを作ってください。大人が真剣に性犯罪に対処する態度を示すことが、子どもに「私は、守られている」という安心感を与えます。

大人とともに、防犯対策を考えた子どもたちは、自分の身を守れるようになるだけでなく、子どもを守る大人に成長してくれることでしょう。

2021年には、電車内で無差別刺傷事件や放火事件が発生し、世の中を震撼させました。こうした日常的に発生している犯罪を抑止できてこそ、テロや殺人などの凶悪・重大犯罪の予防にもつながると、私たちは考えています。

私たちは、皆さんと一緒に「性犯罪を許さない社会」を目指します。

一般社団法人痴漢抑止活動センター

代表理事 松永弥生

コンテスト概要

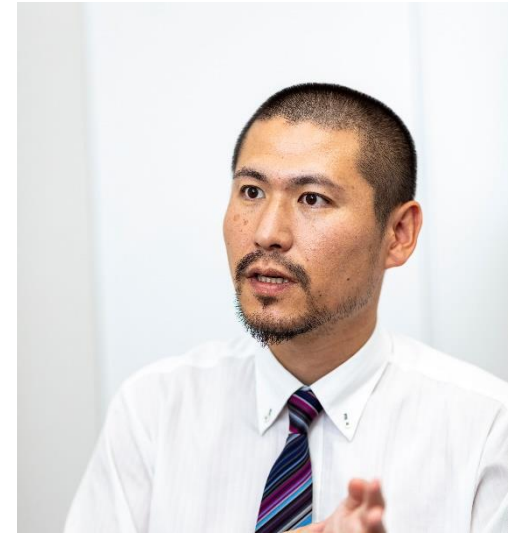
- 募集期間: 2021年8月1日(日)～9月10日(金)
- 結果発表: 2021年12月15日(日)
- 授賞式: 新型コロナウイルスの影響のため中止{各校にて、表彰状授与式を実施}
- 審査員長: 神崎 遥様(デザイナー、第2回痴漢抑止バッジデザインコンテスト最優秀賞)
- アドバイザー: 斉藤 章佳様(大船榎本クリニック精神保健福祉部長、精神保健福祉士、社会福祉士)
- 主 催: 一般社団法人痴漢抑止活動センター
- 後 援: 警視庁
国土交通省
文部科学省
大阪府教育委員会
関西SDGsプラットフォーム
一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会
- 協 賛: 阪急電鉄株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
大阪市高速電気軌道株式会社
- 協 力: 大阪市高速電気軌道株式会社 日本橋管区駅
- アンバサダー: 有限会社ササキセキュリティー
RadarLab株式会社

【講評】

今年はSDGsのおかげか、性別にかかわらず声を上げていこうというメッセージが多くあり、とても良い方向へ進んでいると感じました。ただ、昨年も感じたことですが、メッセージの強いバッジは必ずしも当事者にとって付けやすいものではありません。自分自身への言い聞かせもありますが、最善は何か自問自答することがデザイナーとして力をつける方法だと思います。ひとまず応募された皆さまお疲れ様でした。



入賞12作品を拝見し、年々レベルが上がっているのを感じました。デザインに込める思いが伝わってきます。若い世代が痴漢犯罪に関心を持っているのは、SNSなどの発言が増えている点からわかります。コンテストの参加者、参加校が増えているのもその表れではないでしょうか。時代が変わりつつあるのを実感します。最優秀賞のデザインは、オリンピックで話題になったピクトグラムを上手に使っています。電車の中は暗い色が多いので、背景が白なのは目立つし痴漢抑止の意図が伝わりやすいと思います。今年はコンテストにあわせて、アニメーション「学生に知ってほしい痴漢の真実」が公開されました。学校や家庭で視聴され、痴漢犯罪に対する防犯意識を育ててほしいと願っています。



著書に

男が痴漢になる理由

「小児性愛という病」それは愛ではない

万引き依存症

コンテストの告知・広報

A) WEBサイト ●デザインコンテスト公式サイト

URL : <http://scb.jpn.org/contest/2021/>

●登竜門、コンペナビ、公募ガイドONLINE、Skillots、公募特急きらり、公募ストック、コンペディア

B) チラシ(A4 両面カラー) 27,000枚作成

C) リーフレット 1,700枚作成

D) ポスター(B2)300枚作成

全国508校 : 各校に50部チラシ送付

Osaka Metro : 137駅 ポスター、リーフレット送付

阪急電鉄: ポスター20枚

JR西日本: ポスター20枚



ボランティアによるチラシ発送風景 チラシ・ポスター制作: キムチ(第6回痴漢抑止バッジデザインコンテスト 最優秀賞受賞)

第7回痴漢抑止バッジデザインコンテスト審査結果

学生対象のデザインコンテスト

全国37都道府県148校から1091作品の応募

募集期間: 2021年8月1日～9月10日

最優秀賞(賞金5万円)

大阪情報ITクリエイター専門学校 ニシムラさん

■デザインコンセプト

今話題のピクトグラムで痴漢に対して思わず一本背負いしたくなる思いを表現しました。実際は一本背負いはしないかもしれませんが、泣き寝入りもしないと言った抵抗するメッセージを込めました。色合いは落ち着いた配色でまとめ、誰でも付けやすい様に意識しました。



優秀賞(賞金2万円): 日本デザイナー芸術学院 渡邊莉名さん●○○○

優秀賞(賞金2万円): 北海道芸術デザイン専門学校 すずきさん○●○○

特別審査員賞(賞金1万円): 新潟コンピュータ専門学校 ヒロさん○○●○

審査員特別賞「たか子賞」(賞金1万円): クリエイターズアカデミー目黒校 nakamuraさん○○○●



一次審査 大学生の投票をもとに60作品選出

応募総数1091作品から各地の大学生18名に投票していただきました。
投票結果を参照し、審査委員会が60作品を選出いたしました。

【協力校】

APU、京都芸術大学、群馬大学、慶應義塾大学、国際基督教大学、青山学院大学、創価大学、早稲田大学、中央大学、東京外国語大学、東京未来大学、東洋大学、立命館アジア太平洋大学

二次審査 中学生・高校生のアンケートで12作品選出



浦和麗明高等学校



日本文理大学附属高校

中高校生9校448名に一次審査結果の60作品の中から、好きな作品に投票していただきました。

投票結果を参照し、審査委員会が12作品を選出いたしました。

【大阪府】大阪市立南港南中学校、学校法人大阪学園大阪高等学校、大阪市立咲くやこの花中学校

【兵庫県】芦屋学園中学・高等学校、松蔭女子学院 松蔭中学校・高等学校

【愛知県】南山高等・中学校

【大分県】日本文理大学附属高校

【神奈川県】小田原城北工業高等学校

【埼玉県】浦和麗明高等学校

入賞12作品



「痴漢を取り締まエナガさん」
すずき
(北海道芸術デザイン専門学校)



「見ている」
リョウ
(北海道芸術デザイン専門学校)



「絶対許さなワニ」
渡邊莉名
(日本デザイナー芸術学院)



「写楽式防犯」
なながつ
(京都芸術高等学校)



「見てるぞ。」
ミカチキ
(北海道芸術デザイン専門学校)



「相手が誰でも痴漢はダメ」
ヒロ
(新潟コンピュータ専門学校)



「かわいい見た目にご用心」
アキヒコ
(クリエイターズアカデミー目黒校)



「X」
村山心優
(HAL名古屋)



「容赦しないよ」
はとこ
(北海道芸術デザイン専門学校)



「見逃さない」
ねぎ
(九州産業大学)



「その犯罪に一本背負い」
ニシムラ
(大阪情報ITクリエイター専門学校)



「“ぴえん”では済まされない」
Nakamura
(クリエイターズアカデミー目黒校)

一般投票 近鉄百貨店 あべのハルカス 5階 縁活ウォールギャラリー



開催日:2021年11月10日～30日
会場:近鉄百貨店 あべのハルカス
縁活ウォールギャラリー

投票数 あべのハルカス投票:20票 WEB投票:863票

少女たちが痴漢被害にあっている現実を知っていただくために、多くの方が買い物を楽しむ百貨店内にあるウォールギャラリーとWEBで、最終審査を実施いたしました(投票は、21日まで)。会場にポストを設置し、バッジデザインを選んで投票していただきました。

会場を訪れた方が、NHKのラジオ番組に投稿していただきました。



「第7回痴漢抑止バッジデザインコンテスト」 受賞式



今回は、新型コロナウイルスの影響のため東京で予定していた受賞式は中止となりました。

入賞者が在籍する各校にご協力いただき、校長先生から賞状・副賞を授与していただきました。

最優秀賞のニシムラさんには、当センター代表理事 松永から、賞状を授与いたしました。

2021年メディア掲載リスト(1)

2021.01.08	痴漢抑止バッジ受賞作決まる	(大阪日日新聞)
2021.06.01	撲滅 性犯罪被害をなくすためには	TOKYO MX
2021.06.01	痴漢対策 抵抗の意思表示を	上智新聞
2021.07.16	第7回痴漢抑止バッジデザインコンテスト	公募ストック
2021.07.23	<u>もう泣き寝入りしません！ 効果抜群、通勤通学電車の痴漢対策、女子高校生考案の痴漢抑止バッジが凄い！</u>	Yahoo!クリエイターズ
2021.07.26	くらしの中のジェンダー 次世代に課題先送りしない	しんぶん赤旗
2021.07.27	<u>「学生に知ってほしい痴漢の真実」アニメーション動画が作られた理由</u>	buzzfeed
2021.07.26	<u>痴漢の回避・対処方法～悪いのは加害者です～</u>	ピルにゃん
2021.07.28	子守康範 朝からてんコモリ！	MBSラジオ
2021.08.13	<u>カバンに使用済み避妊具を入れられ……痴漢のリアル伝える動画サイト</u>	Business Insider
2021.08.21	痴漢の真実、動画で学ぶ 抑止活動センター 加害者の心理など解説	大阪日日新聞
2021.08.25	<u>痴漢をするのは「普通の人」 アニメーションで伝える痴漢の実態と身を守る方法</u>	Wezzy
2021.09.08	<u>「痴漢です！」泣き叫んでも、助けはなかった 被害者は幾度も傷つく</u>	朝日デジタル
2021.09.25	<u>「痴漢です！」泣き叫んでも、助けはなかった 被害者は幾度も傷つく</u>	朝日新聞
2021.11.12	<u>「第7回痴漢抑止バッジデザインコンテスト」最終審査がスタート 上位5作品のデザインを製品化へ</u>	ねとらぼ
2021.11.16	NHKラジオ マイあさ！	NHK ラジオ
2022.01.07	痴漢抑止バッジデザインコンテスト ニシムラさん最優秀	(大阪日日新聞)
2022.01.15	<u>9割以上の痴漢を抑制したバッジ「身を守る以上に大事なことがある」</u>	CHANT.WEB
2022.01.16	<u>痴漢は当事者だけの問題？「親子、学校…教育の課題です」</u>	CHANT.WEB
2022.01.18	<u>受験生狙った痴漢対策は？ “抑止バッジ”無料配布の取り組みと課題「学校は防犯グッズだと知って」</u>	Abematv
2022.01.25	受験生 痴漢から守れ 黄色いリボン	朝日新聞

2020年メディア掲載リスト(2)



このほか受験の時は以下のような対策も有効だといえます。

- 中高生に見られないように私服で試験会場に向かう。
- 複数で行動する。



また、効果的だというのは「痴漢抑止バッジ」。
通学カバンなどにつけて使います。

これまでにおよそ1万6000個が配布され、バッジをつけた人からは「被害に遭わないようになった」「電車に安心して乗れるようになった」などの声が寄せられています。

関連イベント

2021年12月～2022年1月 クラウドファンディング

「子どもを痴漢から守るため、学校に痴漢犯罪防犯講座セット寄贈プロジェクト」

当センターは、学生を痴漢から守るために、何ができるだろう？ と常に考えてきました。

被害を未然に防ぐ、痴漢にあったしまった時に対処するには、教育が必要という結論に達しました。

多くの学校では、自転車通学をする生徒に交通安全教育を行うのに、電車通学をする生徒に痴漢対策を教えていません。そこで、「痴漢犯罪防犯講座セット」を作り、学校に寄贈するプロジェクトを立ち上げました。



入学時のオリエンテーションで、「痴漢犯罪防犯講座」を実施してもらえれば、生徒たちの被害を減らし、何かあった時には、保護者や教師、警察などに相談・報告ができるようになります。

寄贈の実施に向けてクラウドファンディングで資金を募ったところ、222名から150万6千円のご支援をいただきました。

2022年3月より寄贈を開始します。

会計報告

損益計算書

	勘定科目	借方金額	貸方金額	残 高
【売上高】	バッチ販売	0	203,620	203,620
	協賛金収入	0	3,020,232	3,020,232
	その他売上高	0	8,000	8,000
	売上値引・戻り高	53,460	0	53,460
	【売上高】	0	3,178,392	3,178,392
【売上原価】	期首棚卸高	261,685	0	261,685
	商品仕入高	83,622	0	83,622
	外注費	134,400	0	134,400
	支払手数料	18,518	0	18,518
	期末棚卸高	41,651	299,603	257,952
	【売上原価】	240,273	0	240,273
【売上総利益】		0	2,938,119	2,938,119
【販売管理費】	旅費交通費	11,040	0	11,040
	広告宣伝費	1,378,480	0	1,378,480
	容器包装費	0	0	0
	発送配達費	84,836	0	84,836
	コンテスト関連費	534,542	0	534,542
	役員報酬	1,296,000	0	1,296,000
	法定福利費	562,194	277,296	284,898
	教育訓練費	106,198	6,600	99,598
	地代家賃	130,680	0	130,680
	事務用消耗品費	13,005	0	13,005
	通信費	116,268	0	116,268
	租税公課	200	0	200
	接待交際費	5,019	0	5,019
	接待交際費	5,019	0	5,019
	備品・消耗品費	85,858	0	85,858
	管理諸費	409,200	0	409,200
	会議費	1,210	0	1,210
	雑費	26,779	0	26,779
	【販売管理費】	4,477,613	0	4,477,613
【営業損益】		0	-1,539,494	-1,539,494
【営業外収益】	受取利息	0	10	10
	雑収入	0	13,216	13,216
	【営業外収益】	0	13,226	13,226
【営業外費用】	支払利息	52,431	0	52,431
	【営業外費用】	52,431	0	52,431
	【営業外損益】	0	-39,205	-39,205
	【経常損益】	0	-1,578,699	-1,578,699
	【税引前当期純利益】	0	-1,578,699	-1,578,699
	法人税及び住民税	70,000	0	70,000
【当期純利益】		0	-1,648,699	-1,648,699

収入は、痴漢抑止バッジのネット販売、OsakaMetro駅構内ローソンの販売とコンテストなどへの協賛金、寄付金である。

他にクラウドファンディングで、アニメーション制作プロジェクトを立ち上げたため、ご支援をいただいている。

コロナの影響で、痴漢抑止バッジデザインコンテストの受賞式は、東京での開催を取りやめ、各校で授与式をしていただいた。そのため、開催費の負担が軽減した。

次期(2022年度)は、制作した痴漢犯罪の防犯啓蒙アニメーションを用いて「痴漢犯罪防犯講座」をつくり、学校に広めてゆきたい。

そして、運営管理費を補うため、パートナー企業や個人の方々からの寄付を募るシステムを整えていく所存である。

バッジは2022年3月より無料化し、売り上げではなく寄付を増やす方向に転換する。

引き続き、単年度収支を黒字化することを第一の目標とする。

痴漢抑止バッジデザインコンテストは10年間の継続を目指し、協賛企業を募りつつ、参加者の拡大を目指す。

プロジェクト 連絡先

【団体名】 一般社団法人痴漢抑止活動センター

代表理事 松永弥生

【住所】〒541-0051 大阪府中央区備後町3-6-2 大雅ビル10F-242

【電話】06-7898-7808

【e-mail】 info_scb@scbaction.org

【HP】 <http://scbaction.org/>

【facebook】 <https://www.facebook.com/scbaction>

【Twitter】 <https://twitter.com/scbaction>

